

国分寺市にふるさとをつくる会

265号 令和6年4月1日発行

特定非営利活動法人
国分寺市にふるさとをつくる会
理事長 岡本 浜夫
〒185-0032 東京都国分寺市日吉町 3-7-8
TEL: 090-6937-8070 fax: 042-325-7616
E-mail: hatamatu@mint.ocn.ne.jp

ナラ枯れの収束宣言ができました！

ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシという5mm程度の小さな虫が、ナラ菌を樹木内に持ち込み、ナラ菌が樹木の通水機能を止めるために枯死が起こる現象です。東京都内では2020年～2022年に大発生しました。



これから注意すべきことが、2つあります。

- ① 樹木は上枝から下枝に向かって枯れるため、風雨により枝が落下する事があります。ご注意ください。
- ② ナラ枯れの被害にあった樹木の根元に「カエンタケ」という真っ赤なキノコが発生することがあります。絶対触らないで下さい。

※緑地の復活は、実生苗を移植する等これから行います。

枯れ樹木



カエンタケ



(東京都資料：文責 国分寺市にふるさとをつくる会 白木昭憲)

<令和6年>4月行事予定

- 1日(月) 防災推進の街づくり仲間の会
- 9日(火) 多摩の自然を楽しく学ぶ会
9:30 JR 横浜線八王子みなみ野駅
- 10日(水) 森の自然塾運営会議
9:30 恋ヶ窪公民館
- 12日(金) ふるさとをつくる会合同幹部会議
14:00 恋ヶ窪公民館
- 13日(土) 都市緑化を考える会
9:20 皇居・桔梗門前
- 20日(土) 日吉町町内会定例会
13:30 日吉フードセンター
- 21日(日) 防災推進街づくり仲間の会
14:00 恋ヶ窪公民館
- 28日(日) 姿見の池ホタルの会
作業：9:30 姿見の池
総会：13:30 恋ヶ窪公民館
- 30日(火) 会報配布準備(含む印刷)
13:30 恋ヶ窪公民館

森の自然塾 「花博士になろう！」

担当責任者 冨村 隆子

3月17日は今年度最後の自然塾でした。最初のプログラムは、X山には春になると誰も種を蒔かないのに花が咲くのは何故？花は何のために咲くの？種はどの様にしてできる？などを図解してお話をしました。その後に実際の菜の花をルーペで見て花の構造を観察し、それからガク・花びら・雄しべ・雌しべと花を分解して台紙に貼って、きれいな標本が出来ました。次のプログラムは、お楽しみの「花さがしビンゴ」です。4×4の花の写真のビンゴ用紙と花の説明を書いた用紙を持って花を探します。最後のこの日だけは、自由に、仲の良い友達と組んで歩き回り、協力しあってビンゴを完成させます。私達スタッフは危険の無いよう見守りが一番大切です。しかしそれとなくヒントを教えたり、花の方に誘導したり、いつの間にか子供たちの仲間になって花さがしを楽しんでいました。5月の第一回目から一年驚くばかり成長した子供たちが、嬉々として森の中を走り回る姿に感慨一入でした。



東京大学附属「小石川植物園」散策

都市緑化を考える会

日時: 2024年5月4日(祝・土) 9時30分～14時30分
集合: 9時30分 東京メトロ丸ノ内線・茗荷谷駅・出入口1方面改札出口前
解散: 14時30分 小石川植物園 指導: 飯村興宣・三田晴美
持ち物: 筆記用具・帽子・飲み物・健康保険証(コピー不可)・雨具・お弁当
参加費用: 一人500円(保険料含む)

小石川植物園・入園料は、5/4「みどりの日」に限り無料

募集人数: 15名程度(先着順)(住所・氏名・年齢をお伝えください)【締切 4/19(金)】

〒198-0036 東京都青梅市河辺町 2-1001-2 304 上野直彦宛

TEL&FAX 0428-27-2827

MOBILE 090-1656-2758

MAIL uenonachiko@gmail.com

※小石川植物園にゆかりのある植物学者・牧野富太郎を

モデルとしたNHK連続テレビ小説「らんまん」が放送された。

(2023年)



ハンカチの木

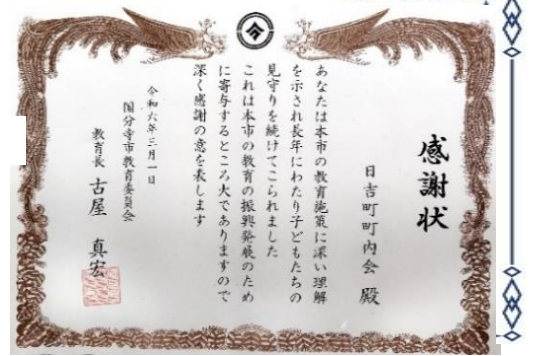


日吉町町内会
国分寺市教育委員会からの感謝状授与について

会長 鹿島義之

今回初めて国分寺市教育委員会から感謝状を授与されました。

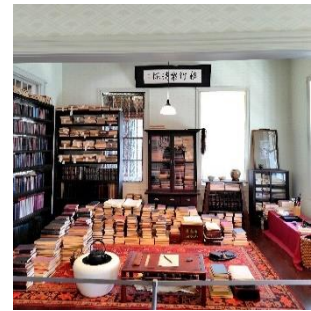
感謝状の中で「あなたは本市の教育施策に深い理解を示され長年にわたり子ども達の見守りを続けてこられました。これは本市の教育の振興発展のために寄与するところ大でありますので深く感謝の意を表します」と書かれています。五小の子どもを見守る人は多数いますが、今回橋本校長が当会を推薦してくれた事を大変うれしく思います。私達は子ども達を見守るため通学路において、子どもに対し挨拶することで安心を与えることをやっていますが、国分寺市の教育に寄与しているとは初めて感じました。私達がやっている事が少しでも役立つことは嬉しい事です。取り巻く環境は厳しいと思いますが、スケールは小さくなりますが継続を続けたいと思います。



たまには街を歩こう 「早稲田界限から肥後細川庭園へ」実施報告

多摩に歩く会 小泉郁雄

3月22日に新宿区・文京区の街歩きに出かけました。早稲田界限には夏目漱石(1867~1916年)生誕の地(喜久井町)と亡くなるまでの9年間で過ごした漱石山房(早稲田南町)があり、まず新宿区立漱石山房記念館を訪問。館内には漱石の書齋が再現され、絨毯の上に置かれた文机から「三四郎」・「それから」・「道草」などの代表作が生み出されたそうです。書齋に隣接する応接間では毎週木曜日に文化サロン「木曜会」が開かれ、芥川龍之介、菊池寛、安部能成、寺田寅彦など多くの人達が集まりました。敷地内には「吾輩は猫である」のモデルとなった猫等、夏目家で飼われた「生き物たち」の供養塔「猫塚」もあります。終焉地の次に「夏目漱石誕生之地」の記念碑を見学しました(碑文は安部能成の筆による)。次に早大構内へ移動、まず新しい施設である国際文学館(村上春樹ライブラリー)を案内。村上春樹(若い頃には国分寺市在住)が蔵書を寄贈、隈研吾が既存の建物の改修を設計、改修費用はユニクロの創業者柳井正氏が全額負担、ということで設立の経緯が話題になりました。その近くの1928年(昭和3年)設立の坪内博士記念演劇博物館も外から見学。この建物は16世紀イギリスの劇場「フォーチュン座」を模して設計されたもので、建物自体が舞台のようになっていています。早大構内を抜けて、神田川をこえ「肥後細川庭園」に到着、目白台の高低差を活かした池泉回遊式の美しい大名庭園を眺めながらお弁当にしました。細川庭園を出て、胸突坂を登る途中に「関口芭蕉庵」、細川家伝来の美術品・歴史資料を収蔵した「永青文庫」があります。胸突坂を登りきると目白通りで、講談社野間記念館、ホテル椿山荘、丹下健三が設計した東京カテドラル聖マリア大聖堂が見えました。目白通の高台からの遠景を楽しみながら、最終目的地の江戸川公園に下りました。



夏目漱石書齋



早稲田大学



肥後細川庭園

環境保全に配慮し、人に、社会に、地球に優しい製品及びサービスを提供します

 **リオン株式会社**
<https://www.rion.co.jp/>

エックスやま
本社はX山に位置します
自然環境保護に賛同
賛助会員 TEL 042-321-5441
国分寺市日吉町4丁目13番2
中央システム技研(株)
代表取締役 川野 誠
(長野県下伊那郡出身)

私たちは木を森を自然を大切にしています。
Environment Conscious
R&D for the Future

企業紹介はこちら
(株)日立製作所
中央研究所 →



HITACHI
Inspire the Next

ホームページ
国分寺市にふるさとをつくる会
QPコード

